

令和6年第3回三芳町議会定例会 一般質問通告書

質問順序・質問者及び質問要旨

| 順序 | 質問者 | 質問要旨 | 質問内容 | 質問の相手 |
|----|-------|----------------------|--|-----------|
| 1 | 細谷 光弘 | 1 金属スクラップなどの野外規制について | <p>1) 埼玉県特定再生資源野外保管業の規制に関する条例について</p> <p>①令和7年1月1日より施行されるが、この条例に対する町の考えは</p> <p>②県の条例により規制対象になる敷地面積が100㎡以上の事業者は、現在町内に何軒あるか</p> <p>③今後規制対象になる金属ヤードについて、県の条例に基づき、事業者が新たに設置・整備すべきものは何か</p> <p>④事業者が新たに遵守すべき規制内容について</p> <p>ア 保管場所の周囲の囲い、強度について</p> <p>イ 保管の高さ</p> <p>ウ 保管の単位</p> <p>⑤汚水対策、騒音、振動に関しては</p> <p>⑥火災防止措置や飛散流出対策に関しては</p> <p>⑦ネズミ、害虫対策についての必要性はあるか</p> <p>⑧既存の対象事業者に対する法令施行の周知方法は</p> <p>⑨事業所周辺住民や町民への周知活動はどのように行う予定か</p> <p>⑩既存事業者が今後行わなければならない手続きは何か</p> <p>⑪既存事業者に対する一部免除規制とは何か</p> <p>2) 既存事業者は、令和7年6月30日までに申請が必要とされているが、申請時点までに上記の規制対象になる部分について全て改善が必要か</p> <p>3) この条例施行によって、現在相当高く積み上げられている金属ヤードの山が規制基準以下になるのはいつか</p> <p>4) 期限までに基準不適合や無許可営業にあたる条例違反発生した場合の町、県の対応はどうなるのか</p> <p>5) さいたま市や越谷市の独自条例について</p> | 町長 環境課 |

| | | | | |
|--|--|--------------------------|---|--|
| | | <p>2 ふるさと納税 について</p> | <p>①町の金属ヤードなどの現状を踏まえ、県条例と比較して、各市の独自条例から取り入れるべき具体的な点は何か</p> <p>②取り入れる際に予想される課題は</p> <p>6) 町として、県の条例だけで十分と考えるのか</p> <p>7) 町独自の追加条例を検討する考えはあるか</p> <p>8) 県の条例施行後の影響、評価</p> <p>①この条例が施行された場合、町内の景観や環境、そして安全面で具体的にどのような効果が期待されるか</p> <p>②施行後、認可された事業者が規制を違反していないかをどのように県との連携し、調査・測定する予定か</p> <p>③既存事業者が新たな規制に適合するための助成金や補助金の導入を検討しているか</p> <p>1) 交付団体と不交付団体との違いは何か</p> <p>2) 令和3年、4年、5年度のそれぞれのふるさと納税寄附総額はそれぞれいくらか</p> <p>3) 令和3年、4年、5年度の町のふるさと納税による他自治体に流失した市町村民税（町外流失額）はそれぞれいくらか</p> <p>4) 令和6年度ふるさと納税見込み額は</p> <p>5) 令和6年度のふるさと納税町外流出額の見込み額はどの程度か</p> <p>6) 町へのふるさと納税額を増やすために、今後どのような施策や取り組みを行う予定か、または既に新たに行っているものは</p> <p>7) 令和4年、5年、6年度の町のふるさと納税の返礼品の数と今後の目標は</p> <p>8) 令和7年10月1日から寄附に伴いポイント等の付与を行う者を通じた募集が禁止されるが、それによる町への影響はあるか</p> <p>9) ポイント付与禁止に対する町の見解は</p> <p>10) 不交付団体である三芳町では、ふるさと納税が赤字になっても国の財政措置が受けられないが、町長のふるさと納税に対</p> | <p>町長</p> <p>町長 政策推進室 税務課 政策推進室 税務課 政策推進室 町長</p> |
|--|--|--------------------------|---|--|

| | | | する考えと今後の目標等は | |
|---|-------|--|---|--------|
| 2 | 菊地 浩二 | 1 質の高い英語教育について (ALT編) | <p>1) 予算審査の答弁で「より質の高いALT」との説明があったが、質の高いとは具体的にどういうことか</p> <p>2) 令和6年度の町内ALT 8名全員が英語を母語としているが、英語のスピーキングテストを課す意義は</p> <p>3) 英語をわかりやすく教える能力はどのように計るか</p> <p>4) 英語教授法取得者を要望したはずだが、取得者は8人中3人となっている。理由は</p> <p>5) 取得者3人と他の5人とは授業中の位置づけや待遇面でどのような違いがあるか</p> <p>6) 英語の授業以外の授業や学校行事で児童生徒や地域の方々とはどのように交流しているか</p> <p>7) 部活動や希望する児童生徒に対する個別指導、異文化理解のための学習は行われているか</p> <p>8) 現行法の下、児童生徒が「より英語力を身につけられるような授業を日本人教諭と一緒に共につくり上げる」とはどのような授業となるか</p> <p>9) ALTは派遣契約となっているが、なぜ派遣契約としているか。JETプログラムや直接任用での契約は</p> <p>10) ALTのままでは一人で授業を行うことは出来ない。他市では特別免許状の取得により専門性を生かしたオールイングリッシュ授業も出来るようになっている。三芳町でも質の高い英語の授業のため、派遣ではなく、特別免許状の取得をどのように考えているか</p> | 教育センター |
| | | 2 世界農業遺産 武蔵野の落ち葉堆肥農法推進協議会事業と三芳町長公務の線引きについて | <p>1) 世界農業遺産 武蔵野の落ち葉堆肥農法推進協議会の法的位置づけや根拠は</p> <p>2) 韓国河東郡訪問の目的や成果など、三芳町から公式に発表や報告はされているか</p> <p>3) 韓国河東郡訪問は三芳町から渡航費用などは出していないが、しじみ祭り視察は町長として出席か、それとも協議会として</p> | 観光産業課 |

| | | | | |
|--|----------------------|--|--|--------------|
| | | <p>出席か</p> <p>4) 令和6年当初予算のうち、イタリアローマ世界農業遺産認定記念式典出席のための費用は三芳町から直接予算化されているが、韓国訪問とイタリア訪問との違いは何か</p> <p>5) 令和6年7月26日に議員に対し三芳町観光産業課長より発信された「世界農業遺産 武蔵野の落ち葉堆肥農法推進協議会事業の情報提供」のなかに「今後の協力・交流等を期待する」とあるが、三芳町として具体的にはどのようなことを考えているか</p> <p>6) 協議会の事業は三芳町や三芳町住民にどのような効果をもたらしているか</p> <p>7) 今回の韓国河東郡訪問のように今後の視察などの事業費は、協議会から費用負担することはどうか</p> <p>8) 協議会の事務局は三芳町役場観光産業課内にあるが、いまのまま協議会事務局と三芳町の観光産業課の分掌事務との両立は可能か</p> <p>9) 協議会事業と三芳町事業をしっかりと線引きする必要性をどのように考えているか</p> | <p>1) 三芳町は昼夜間人口比率が高い町と言われる、近隣市から働きに来る方が多い。三芳町に働きに来る方はなぜ、近隣市に住み、三芳町に住むことを選択しない理由をどのように考えるか</p> <p>2) 三芳町の合計特殊出生率は全国、埼玉県及び近隣市に比べかなり低い。最近では1.0を切っているが、なぜ三芳町の合計特殊出生率はこんなに低いのか</p> <p>3) 三芳町では子どもにやさしいまちづくり事業がすすめられているが、これらの事業は出生率、出生数や総人口へどのような効果があると考えているか</p> <p>4) 三芳町には鉄道の駅はないが、財政力が強く、自然災害の少ない地域として住みやすい町と考えられる。近隣市の人口は</p> | <p>政策推進室</p> |
| | <p>3 三芳町でなぜ人口減少か</p> | | | |

| | | | | |
|---|-------|--|---|---|
| | | | <p>未だ増加傾向にあるのに、なぜ三芳町の人口は減少しているのか</p> <p>5) 人口減少社会に対し、三芳町はどのように考え、対応していくか</p> | |
| 3 | 桃園 典子 | <p>1 認知症者に寄り添うユマニチュードの普及について</p> <p>2 教育支援室の拡充について</p> <p>3 自然災害への対策の必要性について</p> | <p>1) 認知症に関連する相談件数の推移（過去3年間）</p> <p>2) 介護者の現状について</p> <p>①家庭内介護者が抱える課題をどう捉えているか</p> <p>②施設内介護者が抱える課題をどう捉えているか</p> <p>3) 認知症サポートセンターについて</p> <p>①認知症施策に関する今後の展望は</p> <p>②地域におけるチームオレンジの果たす役割は</p> <p>4) 認知症ケア技法ユマニチュードの効果についての見解は</p> <p>5) 介護施設・家庭内介護者・認知症サポートセンター等で介護に関わる方に、介護の質の向上を目指すユマニチュードの普及啓発を進めてはどうか</p> <p>6) 「共に生きる幸せなまち三芳」の町づくりのためユマニチュードの講演会を開催してはどうか</p> <p>1) 小学校のすこやか相談室について</p> <p>①利用のルールは</p> <p>②学習支援の対応はどのようになっているか</p> <p>2) 中学校教育支援室ステラについて</p> <p>①各学校での利用生徒数は</p> <p>②設置効果をどう捉えているか</p> <p>3) 不登校や生きづらさを抱える子どもへの支援は学童期からの早期対応が重要と考えるがどうか</p> <p>4) 児童の居場所と学びの保障のために小学校にも教育支援室を設置してはどうか</p> <p>1) 熱中症対策について</p> <p>①小中学校給食配膳室の環境整備の必要性について</p> <p>ア 空調のない中での食品管理や職員の</p> | <p>健康増進課</p> <p>教育センター</p> <p>教育長</p> <p>給食センター</p> |

| | | | | |
|---|-------|------------------|--|---|
| | | | <p>健康管理についてどのように捉えているか</p> <p>イ 給食配膳室に空調の整備が必要と考えるがどうか</p> <p>②猛暑期の高齢者の運動について</p> <p>ア 外出控えによる運動不足や交流機会の減少をどう捉えているか</p> <p>イ 運動不足対策としていもっこ体操等、室内での運動機会の提供を拡大してはどうか</p> <p>2) ゲリラ豪雨対策について</p> <p>①令和2年策定の都市計画マスタープランには「雨水排水施設の整備計画」とあるが町の取り組み状況は</p> <p>②道路上のマンホールについて</p> <p>ア 旧式の雨水用マンホールの水圧に対する耐久性をどう捉えているか</p> <p>イ 雨水用マンホールの更新計画の状況は</p> <p>ウ 豪雨対策としてマンホールの総点検を実施しては</p> <p>③内水氾濫の対応について</p> <p>ア ハザードマップで内水氾濫の実績がある地域への現在の対応は</p> <p>イ 町から土嚢は提供されているが使用後の土嚢回収を行わなくなったことによる利用の変化や声は</p> <p>④内水氾濫の対策について</p> <p>ア 町内の商業施設と連携し豪雨時の自家用車の退避場所を整備してはどうか</p> <p>イ 町ホームページでの情報発信とともにプッシュ型発信の防災メール登録の更なる推進をしてはどうか</p> <p>ウ 内水氾濫で不安を抱える住民のために止水板の購入に際しての補助制度を創設してはどうか</p> <p>エ 内水氾濫対策として隣接地を活用した貯水施設を整備してはどうか</p> | <p>教育総務課</p> <p>健康増進課</p> <p>上下水道課</p> <p>自治安心課</p> <p>町長 自治安心課</p> <p>道路交通課</p> <p>上下水道課</p> |
| 4 | 牛丸 藍子 | 1 小中学校の抱える課題について | <p>1) 学校のホームページについて</p> <p>①各校のホームページは誰が更新しているのか</p> | <p>町長 教育長 学校教育課</p> |

- ②ホームページ更新についての研修の実施は
 - ③管理しやすい形式に統一するなどシステム改善の検討は
 - ④令和6年3月の一般質問において、各校に指示を出しホームページの充実を図っているとの答弁があったが、どのような点が改善されたか
 - ⑤学校運営協議会の議事録の情報量にばらつきがあり、親しみを持ちにくい書式である。改善の余地があると考えるかがか
 - ⑥小中学校に在籍している外国ルーツのある児童生徒数及び世帯数は
 - ⑦学校ホームページの多言語対応の導入について検討は
 - ⑧今後学校ホームページをどのように活用していくか
- 2) 学校応援団について
- ①各学校の登録人数は
 - ②保護者以外の地域住民の募集方法は
 - ③募集方法について、広報みよし・回覧板・町内掲示板、三芳町のアプリ等の活用の検討は
 - ④町ホームページにも8月8日時点で学校応援団について新着情報が上がっていたが、参加促進につながる告知内容の工夫が必要と考えるかがか
 - ⑤活動コーディネーターの担い手について当初の想定と異なる所も出てきているが町の認識は
 - ⑥活動コーディネーターの人材育成について町の認識は
- 3) 樹木の管理・除草について
- ①現在の学校の樹木の管理状況・費用に関して町の認識は
 - ②学校に高木を多く採用している理由は
 - ③樹木の選定基準は
 - ④高木の管理に苦慮する現場の声もあるが、町の認識は
 - ⑤剪定にかかる委託費用を抑えるためにも、管理しやすい中低木にシフトしてい

町長
教育長
教育総務課

| | | | | |
|---|--------------------|--|---|-------------|
| | | <p>く事が望ましいと考えるがいかがか</p> <p>⑥過去3年での小中学校で伐採した樹木の本数と伐採費用は</p> <p>⑦樹木の専門家による診断を定期的に行える予算措置が必要と考えるがいかがか</p> <p>⑧除草について学校の管理責任の範囲と町の管理責任の範囲はどのように線引きされているか</p> <p>⑨学校が教育活動に専念できるよう除草の業務委託が必要と考えるか町の認識はいかがか</p> <p>⑩今後の学校の植栽の在り方について町の考えは</p> | | |
| | 2 教育の質を高める取り組みについて | <p>1) ペーパーレスの取り組みについて</p> <p>①ペーパーレスの取り組みを始めてから削減した小中学校における1年間の紙代は</p> <p>②過度な節約とならないよう柔軟な対応ができる予算が必要と考えるがいかがか</p> <p>2) スクールサポートスタッフの配置について</p> <p>①今年度は中学校のみの配置となっているが、小学校への配置の検討は</p> <p>②今後も継続を検討しているか</p> <p>3) 学校専用の携帯電話について</p> <p>①教育活動中の教員個人の携帯電話の使用によるトラブルの有無は</p> <p>②緊急時対応・プール授業や校外学習時等に持ち出せる学校専用の携帯電話が必要と考えるがいかがか</p> | <p>町長 教育長 学校教育課</p> <p>町長 教育長 教育総務課</p> | |
| 5 | 細田 三恵 | 1 L G B T Q教育の在り方について | <p>1) 小中学校でL G B T Q教育についてどのように行っているか</p> <p>①教職員へのL G B T Q教育に関する研修内容は</p> <p>②L G B T理解増進法が施行される前との違いは</p> <p>③L G B T理解増進法第6条が定める「家庭及び地域住民その他の関係者の協力を得つつ」とあるが、どのように行っているか</p> <p>2) 新しい教科書の「L G B T Q教育」について</p> | 町長 学校教育課 |

| | | | | |
|--|--|---------------------|--|---|
| | | <p>2 障がい者支援について</p> | <p>①本年教科書採択委員会が開催されたがLGBTQ教育について記載されている教科書は何教科あるか</p> <p>②タブレットやデジタル教科書が導入されてから教科書に二次元コードが増えたが、LGBTQに関するものはどれくらいあるか</p> <p>③教科書採択には、二次元コードの内容は採択範囲外だが、確認しているか</p> <p>3) 図書館、学校図書室においてLGBTQに関する書籍、絵本について</p> <p>①何冊あるか</p> <p>②内容については</p> <p>4) LGBT理解増進法に関する教育は、科学的見地のみならず、伝統的、文化的、宗教的見地等、多角的な視点を含んだ「包括的」な教育とし、単に自身の性を否定するのではなく、自身に与えられた性の意味について考えを深める教育も取り入れてはどうか</p> <p>1) 就労支援について</p> <p>①町内の障がい者の働き場としての就労支援の現状は</p> <p>②町内、または広域での作業所は何カ所あるか</p> <p>③令和5年度障がい者就労支援の登録者124人、就職者71人の年齢別人数は</p> <p>④仕事内容は</p> <p>⑤障がい者就労支援について相談件数は2,307件だが主な相談内容は</p> <p>2) 障がい者と農業の関わりについて</p> <p>①町内には、体験落ち葉掃き、お芋ほり、枝豆狩りのイベント等があるが、これまで障がい者への周知方法と参加人数は</p> <p>②障がい者が参加しやすい環境を整えるためには、事前の周知や参加方法の工夫が必要と考えるがどうか</p> <p>③障がい者との連携を強化するために、特別支援教育の一環として農業体験を取り入れてはどうか</p> <p>④地域の農家と連携し、障がい者が参加で</p> | <p>図書館・学校教育課</p> <p>教育長 学校教育課</p> <p>町長 福祉課</p> <p>観光産業課</p> <p>教育センター</p> <p>福祉課</p> |
|--|--|---------------------|--|---|

| | | | | |
|---|-------|--------------------------------------|--|---|
| | | | <p>きるプログラムを設けることも必要と考えるかどうか</p> <p>3) 農福連携について</p> <p>①障がい者が農業分野で社会参画することをどのように考えるか</p> <p>②農業は自然とのふれあいが心の健康にも期待できると考えるかどうか</p> <p>③農業者が障がい者雇用を必要か否かの調査をしてはどうか</p> <p>④農林水産省では、農福連携に関わる人材育成の研修を行っているが、コーディネーター育成を行ってはどうか</p> <p>⑤農業と福祉の連携を進めることで、地域の活性化や障がい者の就労にもつなげることができると思うかどうか</p> | <p>観光産業課</p> <p>町長 福祉課</p> |
| 6 | 長野真寿美 | <p>1 若年性認知症について</p> <p>2 性教育について</p> | <p>1) 若年性認知症の現状について</p> <p>①町内における若年性認知症の患者数やその増加傾向は把握しているか</p> <p>②若年性認知症の年齢層や背景、発症率に関する統計データはあるのか</p> <p>2) 早期発見・診断の体制</p> <p>①若年性認知症の早期発見や診断に向けた取り組みは、行われているか</p> <p>②町内の医療機関で若年性認知症に特化した診断・相談体制が整っているか</p> <p>3) 本町での支援体制と福祉サービスについて</p> <p>①若年性認知症患者とその家族を支援する福祉サービスはどのようなものが提供されているか</p> <p>②現在の支援体制が十分だと考えているか</p> <p>4) 若年性認知症に対する町民への啓発活動は行われているか</p> <p>5) 若年性認知症のリスクを減らすための予防策や健康教育プログラムはあるか</p> <p>6) 医療機関・福祉サービス、介護施設との連携と情報共有はどのように行われているか</p> <p>1) 幼児期からの性教育が大切と考えるが、本町における保育園・幼稚園で性教育は行われているか</p> | <p>健康増進課</p> <p>福祉課</p> <p>健康増進課</p> <p>こども支援課 ・学校教育課</p> |

| | | | | |
|---|-------|---|--|--|
| | | | <p>有できる連絡網はどのように確立されているか</p> <p>5) 町職員や関係機関が災害発生時に迅速に対応できるよう、災害マニュアルは整備されているか</p> <p>6) 高齢者、障がい者など、災害時に特に支援が必要な住民への支援体制はどのように整備されているか</p> <p>7) 防災対策に対する予算はどのように配分されているか</p> <p>8) 防災関連インフラ（例：洪水対策、耐震化など）の整備状況は</p> <p>9) 住民参加型の防災訓練はどの程度実施されその効果はどう評価されているか</p> <p>10) 近隣自治体や県との連携状況はどうか</p> | <p>財政デジタル推進課 道路交通課・ 上下水道課 自治安心課</p> |
| 7 | 小松 伸介 | <p>1 三芳町版スーパー・シティ構想地域まちづくり計画及び関係諸計画(デジタル田園都市国家構想の実現に向けた三芳町まち・ひと・しごと創生総合戦略等)について</p> | <p>1) 人口・世帯の状況について</p> <p>①これまで行ってきた人口増に向けた取り組みは</p> <p>②効果や課題をどのように捉えているか</p> <p>③転入の増加に向けて町が新たに行う具体的な施策は</p> <p>④交流人口を定住人口にするため町の具体的な施策は</p> <p>⑤転出超過の若い世代に対し、三芳町に戻ってきてもらう取り組み等、具体的な施策は</p> <p>⑥県の希望出生率1.78を達成するための具体的な施策は</p> <p>⑦総合戦略P11の各種イベント等の後に交流の場を設定等、多様な出合いの場の提供とは</p> <p>⑧令和42年の人口32000人は達成可能か</p> <p>2) 地域交通の状況について</p> <p>①拠点・地域資源をつなぐ公共交通網の充実、シェアサイクル等の新たな移動手段の創出とは</p> <p>②シェアサイクルの効果をどう捉えているか</p> <p>③町内循環ワゴンについて</p> <p>ア 今までの公共交通施策(デマンドタクシー等)と比べて町内循環ワゴン</p> | <p>政策推進室</p> <p>町長</p> |

| | | | | |
|--|--|--|---|--|
| | | | <p>のメリット・デメリットは</p> <p>イ ライフバスの行政連絡区別の停留所の数は</p> <p>ウ 循環ワゴンの行政連絡区別の停留所の想定数は</p> <p>エ 藤久保第1区は道が複雑で且つ坂もあり停留所まで遠い等の声がある、もっと既存のバス路線と重複しないルートとすべきでは</p> <p>④公用車にEV導入、EVシェアリングの早期導入は</p> <p>⑤ウォークアブルなまちづくりを進めるための道路環境整備（道路拡幅・歩道設置）についての考えは</p> <p>⑥歩道や住宅地内等へベンチ設置拡充についての考えは</p> <p>3) 開発の状況について</p> <p>①市街化調整区域の面積及び割合は</p> <p>②市街化調整区域内の土地利用の内訳は</p> <p>③農業振興地域の面積及び青地・白地地域の割合は</p> <p>④近隣市の規制と比較して違いは</p> <p>⑤三芳スマートIC周辺の土地利用に関する考えは</p> <p>⑥総合戦略P7基本目標Iについて</p> <p>ア 企業の誘致について、具体的に県とどう連携しながら優良企業の誘致を推進するのか</p> <p>イ 企業の留置について、各種企業支援施策について関係機関と連携し検討するとは</p> <p>ウ 農業の成長産業化について、遊休農地の活用、就農促進や担い手育成等を具体的にどう進めるか</p> <p>4) 地域資源について、マイクロツーリズムや世界農業遺産を活用した体験交流型観光、周遊性向上をどう図るのか</p> <p>5) まちづくりのコンセプトと事業全体の概要について</p> <p>①ムーブレスで暮らしやすい生活の実現とは</p> <p>②DX推進による手続きのオンライン化等</p> | <p>町長</p> <p>施設課 外課</p> <p>道路交通課</p> <p>町長</p> <p>都市計画課</p> <p>観光産業課</p> <p>町長 総合調整幹</p> <p>観光産業課</p> <p>政策推進室</p> |
|--|--|--|---|--|

| | | | | |
|---|------|----------------------|--|---|
| | | | <p>で対応が困難となる町民への対応は</p> <p>③未来創造拠点を中心とする防災・防犯機能の充実とは</p> <p>④集会所へのWi-Fi整備は</p> | <p>自治安心課</p> |
| | | 2 帯状疱疹ワクチンについて | <p>1) 助成制度創設の検討状況は</p> <p>2) 対象者や助成金額等、利用しやすい助成制度の検討は</p> | <p>町長</p> <p>健康増進課</p> |
| 8 | 林 善美 | <p>1 子どもの性被害について</p> | <p>1) 性加害により教員が懲戒処分された事例が県内にある。教職員に情報共有や指導は行われているか</p> <p>2) 性被害にあった・見かけたなどの事例はあるか</p> <p>3) 発覚した場合、どのような対応をするのか</p> <p>①教員</p> <p>②児童生徒</p> <p>4) 児童生徒に対してはどのような指導が行われているか</p> <p>5) 子ども性暴力防止法（日本版DBS）が成立し、2026年から子どもに接する仕事に就く人に性犯罪の前科確認などが義務付けられる。町内で対象となる施設は</p> <p>6) 現時点では児童館は対象、学童保育室は参加義務がない。参加に対する方向性をどのように考えているか</p> <p>7) 塾等、民間教育保育等事業所への周知はどのように考えているか</p> <p>8) 悩んでいる児童生徒や保護者が相談できる体制づくりを検討しては</p> | <p>学校教育課</p> |
| | | 2 町営墓地について | <p>1) これまでに設置の要望はあったか</p> <p>2) 設置について検討したことはあるか</p> <p>3) 他自治体からの転入者数はどのように推移しているか</p> <p>4) 65歳以上の人口推計から、墓地需要について今後どのように変化すると考えるか</p> <p>5) 身寄りのない方が亡くなった場合の対応は</p> <p>6) 町内の墓地5か所について利用状況を把</p> | <p>こども支援課</p> <p>教育長</p> <p>教育センター</p> <p>環境課</p> <p>福祉課</p> <p>環境課</p> |

| | | | | |
|---|-------|--|---|---|
| | | | <p>握しているか</p> <p>7) 県内に公営墓地が8か所、その内町営墓地が2か所ある。県内の現状についてどのように捉えているか</p> <p>8) 町営墓地設置に対する考えは</p> <p>9) 「三芳町墓地の在り方検討委員会（仮）」を立ち上げて設置の可能性について検討してはどうか</p> | 町長 |
| 9 | 久保 健二 | <p>1 ICT教育に使用の機材について</p> <p>2 高木を含めた草木の管理、剪定について</p> | <p>1) GIGAスクール構想により児童生徒に貸与されたパソコン、タブレットについて</p> <p>①今現在使用の機器、端末は交付金を活用し購入したが次回の更新は（購入、リースなど）</p> <p>②今使用の機器の再利用や処分、データの削除等、どのように行う予定か。町、担当課の考えは</p> <p>1) 個人所有の草木の管理、剪定について</p> <p>①草木に対する相談があった際の町が取っている対応は</p> <p>②個人宅の草木に対し、町で剪定をしていくことも考えているといった話があったが今後の町の対応は</p> <p>2) 公園等、公共施設の草木の剪定について</p> <p>①隣地個人宅敷地内や道路にまで伸びている公園等、施設があるが町の対応は</p> <p>②施設周辺、近隣の方から苦情などの相談があった際の町の対応は</p> <p>3) 道路や歩道等の草木剪定について</p> <p>①国道、県道、町道の視界、通行を妨げる草木の剪定について</p> <p>ア 国道・県道の草木に対し、現地の調査確認、県への報告等はどのように行っているのか</p> <p>イ 視界や通行の妨げになる箇所を数多く見かけるが町ではどのように捉え対応しているのか</p> <p>ウ 車道、歩道内の通行、歩行の妨げになっている箇所を見かけるが町の対応は</p> <p>エ まちづくり懇話会にて草木に対する</p> | <p>町長 教育長 学校教育課</p> <p>町長 環境課</p> <p>都市計画課</p> <p>道路交通課</p> |

| | | | | |
|----|-------|---|--|---------------------------------------|
| | | <p>3 不法投棄について</p> <p>4 三芳スマート ICフル化関連事業について</p> | <p>質問が数件出ていたが、進捗の状況は</p> <p>1) 公有地、個人の所有の土地への不法投棄について</p> <p>①個人所有の土地への不法投棄の処分に対し、町での処分を考えている。との発言があったが、今後の町の対応、考えは</p> <p>②町長と町、担当課での協議は、どの程度まで進んでいるのか。協議内容の詳細は</p> <p>③不法投棄で悩んでいる地権者の方を含め、今後どのように周知し、対応していくのか</p> <p>④公有地に投棄されたゴミ等について、町の対応は</p> <p>1) 「賢い料金」社会実験について</p> <p>①「賢い料金」の対象となる条件とは</p> <p>②検討、協議中の「仮称地域活性化発信交流拠点」への施設の利便性、集客を考えると当町の計画にも「賢い料金」の導入は必須と考えるが予定している立地での導入は可能なのか</p> <p>2) 「(仮称) 地域活性化発信交流拠点」について</p> <p>①町が目指す交流地点施設とは (コンセプト等)</p> <p>②「防災道の駅」を目指すとの発言があったが、どの程度の防災機能を備えた施設を想定しているのか</p> <p>③集客を望むには何が必要と捉えているか</p> | <p>町長 環境課</p> <p>町長 総合調整幹</p> |
| 10 | 吉村美津子 | 1 公立小学校・中学校の統廃合の中止について | <p>1) 上富小学校について</p> <p>①児童へのアンケート調査は</p> <p>②地域の交流施設の学校をどのように捉えているのか</p> <p>③跡地にビジターセンター建設を考えているようだが、学校の存続の声は59%と多い。住民の意向を尊重すべきでは</p> <p>2) 三芳町小中学校適正規模適正配置報告書について</p> <p>①アンケート結果の設問3は、児童生徒数・学級数の減少による影響について問</p> | <p>町長 教育長 学校教育課</p> |

| | | | | |
|--|--|------------------------------|--|---------------------|
| | | <p>2 「道の駅」建設計画はやめることについて</p> | <p>うている。「教師の目が行き届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすくなる」に対して保護者はそう思う46.4%、教職員は51.4%と多数を占めている。基本方針の条件になぜ取り入れなかったのか</p> <p>②三芳町における望ましい適正規模では、1学級あたりの人数は、小学校では21人から30人となっている。1学級あたりの条件をなぜ取り入れなかったのか</p> <p>③小学校の通学距離についてのアンケート結果は、2km以内が、保護者53.5%教職員59.5%と高い。方針はなぜ3km程度としたのか</p> <p>④2km以上の児童は、現在何名いるのか</p> <p>3) 6年生などの上級生が下級生の児童と一緒に登校する体制をどのように捉えているか</p> <p>4) 町長は小規模校の意義をどのように捉えているのか</p> <p>1) 町長はパブリックコメントに寄せられた意見をどのように受け止めているのか</p> <p>2) 町民の意見を聞くと述べているが、なぜシンポジウムを行わないのか</p> <p>3) 町民の利用はどの程度を想定しているのか</p> <p>4) 税金投入はどこまでするのか</p> <p>5) (仮称) 地域活性化発信交流拠点基本計画策定検討委員会のスケジュール等について</p> <p>6) 検討委員会と三井共同建設コンサルタント(株)との連携について</p> <p>7) 主な整備手法は、どのように考えているのか</p> <p>8) 農業振興地域の整備に関する法律の農振除外の5要件の進捗状況は</p> <p>9) 三富新田保護との矛盾は</p> <p>10) 税金を投入して、民間会社が利益を得ていく事業ではなく、住民に直接還元される福祉施策などに税金を使うべきであり、道の駅建設計画はやめるべきでは</p> | <p>町長 総合調整幹</p> |
|--|--|------------------------------|--|---------------------|

| | | | | |
|-----|-------|------------------------|--|--|
| | | 3 立地適正化計画は問題 | 1) 上富地域への影響は 2) 北永井地域への影響は | 都市計画課 |
| 1 1 | 増田 磨美 | 1 高齢者がずっと安心して住み続けられる町に | 1) フレイル予防について ①施政方針にフレイル予防対策が重要とあったが予防対策の方法は ②進捗状況は ③今後の進め方は 2) 在宅寝たきり老人紙おむつ給付事業について ①紙おむつ配布の周知方法は ②グループホームへの周知方法は 3) 高齢者の立ち寄れる場所について ①オレンジカフェの箇所数は ②オレンジカフェの役割は ③それぞれのオレンジカフェにおける月ごとの開催日数は ④高齢者が立ち寄れるサロン数は ⑤高齢化が進む中、高齢者がもっと気軽に立ち寄れる場所を増やしては 4) 成年後見制度は重要だが制度の周知はどのように行っているか 5) 施政方針に保険、医療、福祉及び司法を含めた専門機関と地域で支える地域連携ネットワークの中心となる中核機関の設置とあるが具体的にどのような機関のことか 6) 高齢化社会が続く中で町民に必要なとされる施策は | 町長 健康増進課 福祉課 健康増進課 福祉課 町長 |
| | | 2 藤久保地域拠点施設整備等事業について | 1) 藤久保地域拠点施設整備等事業について ①進捗状況は ②実施設計の中で変更点はあるか ③木陰を残してほしいという声があるが計画は ④複合施設について高齢者に優しい設計か ⑤教室の配置と境について ⑥防災対策は万全か ⑦防災井戸の近くに街路灯を付けるべきでは ⑧住民説明会の予定は ⑨校庭代替地の整備進捗と使用方法は | 町長 施設マネジメント課 教育センター 自治安心課 施設マネジメント課 教育総務課・ 学校教育課 |

| | | | | |
|-----|------|-------------------------|--|---|
| | | 3 交通安全対策について | 1) 今後の元郵政宿舎周りの道路について ①建設事業者からの説明は ②通学路の安全確保は ③関係する小学校・中学校への連絡は | 町長 施設マネジメント課 学校教育課 |
| | | 4 より良い学校生活について | 1) 3Aプランにおける学びの保証について ① Wi-Fiの貸出し方法は ② 学校への連絡は | 町長 教育長 学校教育課 |
| 1 2 | 本名 洋 | 1 保険証の利用について | 1) 12月2日以降も現行の国民健康保険証が使用可能であることが十分周知されているか 2) 令和7年7月31日以降も資格確認書があれば受診可能であることが十分周知されているか 3) 資格確認書の有効期限は 4) 「資格情報のお知らせ」について ①発行はいつか ②携帯する必要性の周知は 5) 保険証について相談があった際にマイナンバーカードの作成やマイナンバーカードの健康保険証利用登録が任意であることが説明されているか 6) マイナ保険証の登録解除の周知は | 町長 住民課 |
| | | 2 教育関連費用の保護者、教職員の負担について | 1) PTA会費の児童・生徒1人当たりの年額は 2) PTA会費を就学援助費の対象とすることを検討しては 3) PTA会費の使途として相応しくないものは無いか 4) 教材費や部活動に掛かる費用その他、本来教職員が支出する必要のない費用が教職員の自腹になっている例は無いか 5) 学校財務マネジメントが確立されているか | 町長 教育長 社会教育課 学校教育課 社会教育課 学校教育課 |
| | | 3 公共交通について | 1) 「交通権」についての認識は 2) ライフバス7番線の代替案の進捗状況は 3) ふじみ野駅へのアクセスは 4) 所沢方面へのアクセスは | 町長 政策推進室 |

| | | | | |
|--|--|--|---|--|
| | | | 4) その収益的収支への影響は 5) 住民生活を守る一般会計からの政策的配慮が必要ではないか | |
|--|--|--|---|--|